



タフサポTM

包装：1L×10本

TMは理研グリーンの商標

使用方法

作物名	使用目的	使用量	散布水量	散布間隔
日本芝 西洋芝	乾燥害の軽減	1～2mL/m ²	0.2～0.5L/m ²	1ヶ月

- 土壌の撥水性を予防、改善する土壌浸透剤との体系処理を推奨します。
- 乾燥害の対策や灌水回数の低減を目的に、グリーンやティーイングエリアでの使用をおすすめします。

ベントグラスに対する安全性

使用量 (mL/m ²)	経過日数			
	+1	+6	+13	+19
1	—	—	—	—
2	—	—	—	—
4	—	—	—	—
8	—	—	—	—

実施場所／(株)理研グリーン グリーン研究所 ベントグリーン様管理区 0.5m²/区 反復なし
試験期間／2023年7月20日～8月8日
散布方法／加圧噴霧器にて散布 散布水量 0.2L/m²
散布日／2023年7月20日
表示方法／— (影響なし) ～ +++ (影響大) の指標にて評価
試験結果／試験期間中に影響は認められなかった

製品情報

成分	非イオン系特殊界面活性剤等……………100%
性状	無色～淡黄色透明粘性液体
比重	約1.0 (20℃)
消防法	消防法危険物に該当しない
安全性	普通物 (毒劇物に該当しないものを指している通称)



使用上の注意

- 使用後は葉面に付着した成分を土壌に落とすため、十分な散水を行ってください。
- 保水剤ではないので、灌水は適宜実施してください。
- 散布間隔は1ヵ月を目安とし、短期間の連用は避けてください。
- 初めて混用する際は使用前に可否を確認してください。

安全使用上の注意

- 取扱い後は手をよく洗ってください。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は、直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受けてください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗ってください。
- 皮膚に付着しないよう注意してください。皮膚に付着した場合は、多量の水と石けんで洗い流してください。
- 飲み込まないよう注意してください。飲み込んだ場合は、直ちに医師の処置を受けてください。
- 内容物、容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託してください。
- 密閉し適当な換気のある冷暗所にて保管してください。
- 火気には十分注意してください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。

製造販売元  株式会社 理研グリーン
〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8F
TEL.03(6802)8571 FAX.03(6802)8577 <https://www.rikengreen.co.jp>

札幌駐在 TEL・FAX：仙台支店にて受付
仙台支店 TEL.022(222)9599 FAX.022(267)6505
東京支店 TEL.03(6802)8943 FAX.03(6802)8953
静岡支店 TEL.054(283)0691 FAX.054(291)4261
名古屋支店 TEL.052(218)3060 FAX.052(218)3061
大阪支店 TEL.06(6871)1691 FAX.06(6871)1811
福岡駐在 TEL・FAX：大阪支店にて受付

(株)理研グリーン・パートナーショップ



乾燥害対策を根底から変えてゆく！

タフサポTM



乾燥**軽減**が管理負担を軽減する。

包装：1L×10本

TMは理研グリーンの商標

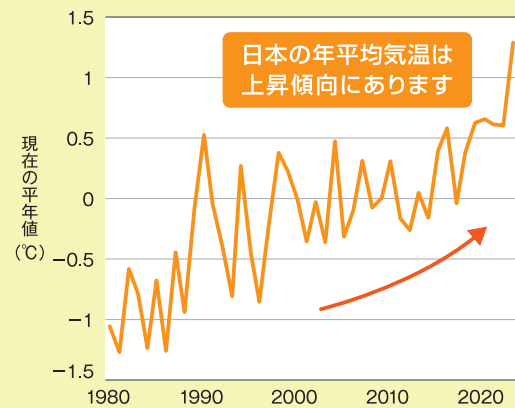
製造販売元  株式会社 理研グリーン



タフサポTM

繊細な水管理を「より簡単に」「よりラクに」変えてゆく！

日本の年平均気温偏差の経年変化（1980～2023年）



出典／気象庁ホームページ 日本の年平均気温偏差の経年変化をもとに株式会社理研グリーン作成
https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html
現在の平年値／1991年から2021年までの平均

近年、異常な夏の暑さによる乾燥害が問題となっています。乾燥させてはいけな一方、水を与えすぎてしまうと根上りやウェットウィルトを引き起こす原因となり、非常に繊細な水管理の技術が求められています。

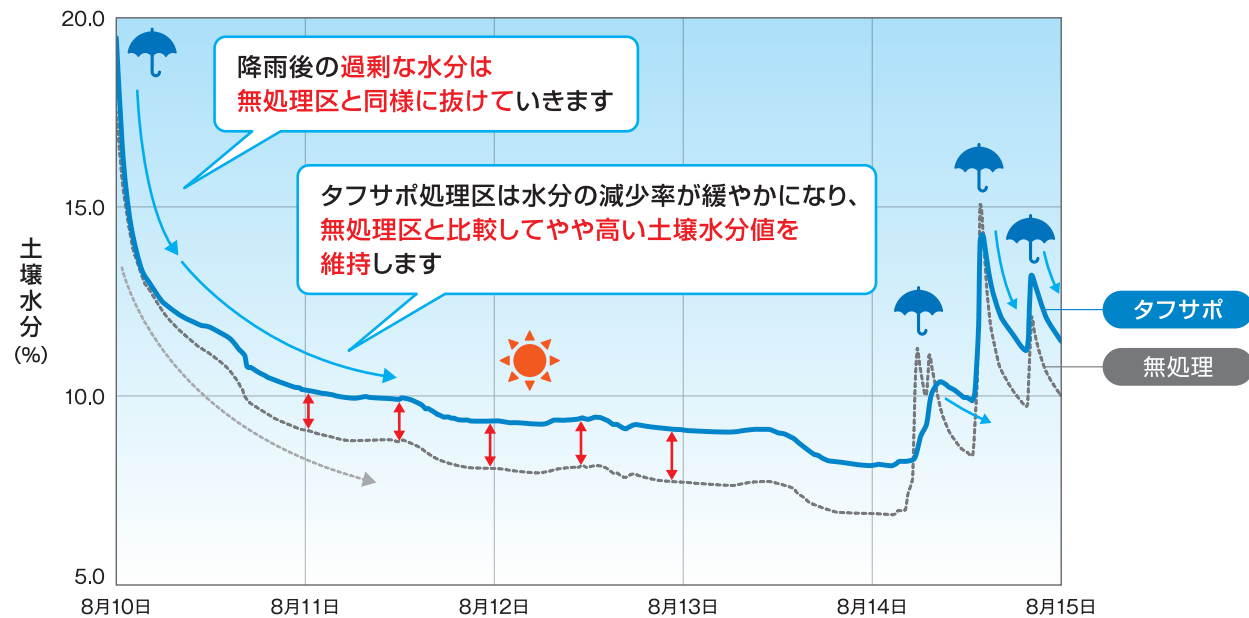
乾燥軽減剤「タフサポ」は特殊な化合物構造により、水分を立体的に保持します。通常の灌水と組み合わせて使用することで、乾燥による衰退を軽減する効果が期待できます。



タフサポ処理区と無処理区の土壌水分値の比較

この図は、タフサポを処理した区と、無処理区の土壌水分を比較したものです。8月9日に降雨のため土壌水分が高くなり、その後、8月14日まで晴天が続きました。無処理区は夏の暑さにより土壌水分が7%程度まで低下したのに対し、タフサポを処理した区はやや高い値（9%程度）で推移しました。また、8月14日から15日

にかけて降雨があり、一時的に土壌水分は上昇しましたが過剰に水分を持ちすぎることはありませんでした。その後、水分が抜けて土壌水分が下がっていきますが、タフサポ処理区では土壌水分の減少が無処理区に比べ緩やかになります。

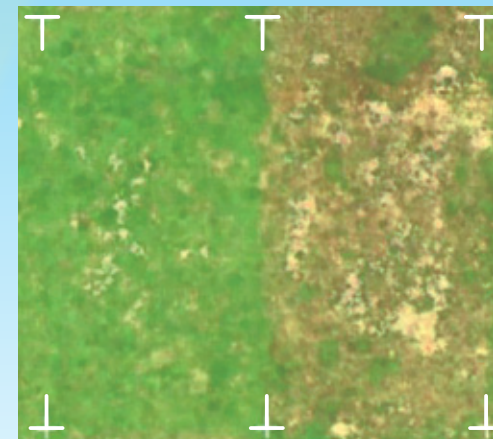


実施場所／(株)理研グリーン グリーン研究所 ベントグリーン様管理区 1㎡/区 3反復
使用量／1.0mL/㎡
散布方法／加圧噴霧器にて散布 散布水量 0.2L/㎡
試験方法／圃場へ土壌水分メーターを約9cmの深さで埋め込み、土壌水分を継続的に測定した。

散布日／2023年7月12日、8月2日
備考条件／試験期間中は無灌水
試験結果／タフサポ処理区の土壌水分は、無処理区よりもやや高い値で推移していた。

タフサポは過湿を回避しながら、乾燥による衰退を軽減します。

ベントグラス圃場における効果



タフサポ 無処理

実施場所／(株)理研グリーン グリーン研究所 ベントグリーン様管理区 12.5㎡/区（2反復）
使用量／1.0mL/㎡
散布方法／加圧噴霧器にて散布 散布水量 0.2L/㎡
試験期間／2022年5月12日～8月31日
散布時期／5～8月に各月に1回 計4回散布
調査日／2022年8月31日
備考条件／夜間灌水は適宜実施
試験結果／タフサポ処理区は無処理区と比較して、ベントグラスの乾燥による衰退が少なかった。



ゴルフ場のベントグリーンにおける効果



タフサポ

無処理

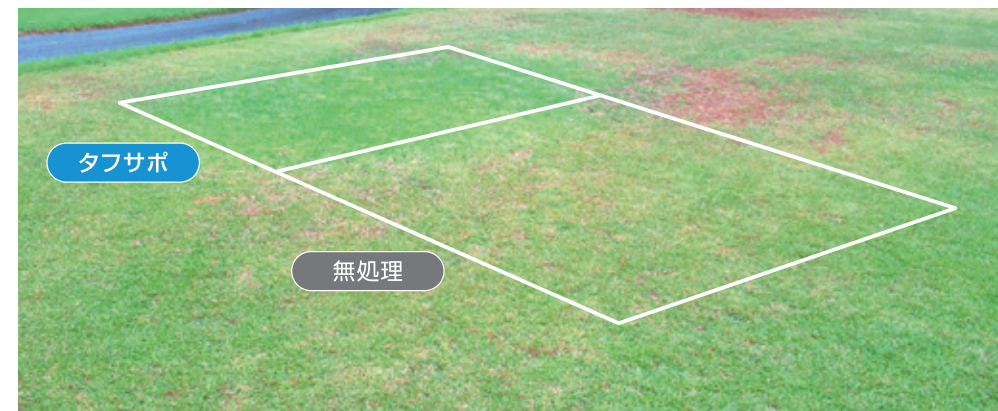
実施場所／静岡県内ゴルフ場 ベントグリーン
使用量／タフサポ 1.0mL/㎡
散布方法／スプレーヤーにて散布 散布水量 0.2L/㎡

散布日／2024年5月29日、6月26日、8月7日
調査日／2024年8月22日
備考条件／散布終了後にスプリンクラーによる散水を実施

試験結果／タフサポ処理区は無処理区と比較して、ベントグラスの乾燥による衰退が明らかに少なかった。

無処理区は乾燥によりベントグラスが衰退し、裸地化した箇所に藻類が発生していますが、タフサポ処理区は衰退が抑えられたため、結果的に藻類の発生が少なくなっています。

ゴルフ場のティーイングエリアにおける効果



タフサポ

無処理

実施場所／静岡県内ゴルフ場 ティーイングエリア（芝種：コウライシバ） 4㎡/区（3反復）
使用量／タフサポ 1.0mL/㎡
散布方法／電動噴霧器にて散布 散布水量 0.2L/㎡
散布日／2024年7月19日、8月7日
調査日／2024年8月22日
試験結果／タフサポ処理区は無処理区と比較して、コウライシバの乾燥による衰退が少なかった。